

令和5年

健康福祉委員会

5月15日

豊明市議会

健康福祉委員会会議録

令和5年5月15日

午後2時30分 開会

午後2時49分 閉会

1. 出席委員

委員長	堀内千帆	副委員長	藤江真理子
委員	青木賢治	委員	浅井孝雄
委員	近藤裕英	委員	三浦桂司
委員	一色美智子		
議長	鵜飼貞雄		

2. 欠席委員

なし

3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	浅井俊一	議事課長	深草広治
議事課長補佐 兼議事担当係長	寺島慎二	庶務担当係長	福田悦子

4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮正典	副市長	土屋正典
健康福祉部長	中村泰正	地域福祉課長	野田勇樹
子育て支援課長	松村清子		

5. 傍聴議員

濱島由充子	鈴木智和	中掘隆一	近藤信男
服部龍一	伊藤洋	武谷敏生	郷右近修
林幸弘	毛受明宏	月岡修一	清水義昭

6. 傍聴者

1名

午後2時30分開会

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ただいまより健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より御挨拶をお願いいたします。

○市長（小浮正典君） 皆さん、お疲れさまです。

本市の健康福祉委員会に付託されました案件は補正予算1議案でございますし、その審査をいただきますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ありがとうございます。

続いて、議長より御挨拶をお願いします。

○議長（鵜飼貞雄議員） お疲れさまです。

健康福祉委員会に付託されました一般会計の補正予算ですが、緊急性を要する議案ではありますが、時間をかけても結構ですので、慎重審議よろしくをお願いいたします。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ありませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おき願います。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可します。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付いたしました議題に従い会議を進めます。

なお、当局におかれましては、反問権を行使される場合は、意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようお願いいたします。また、反問を終了するときも意思表示を明確にされるようお願いいたします。

それでは、議案第37号 令和5年度豊明市一般会計補正予算（第2号）についてのうち、本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について理事者の説明を求めます。

野田地域福祉課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 地域福祉課所管分につきまして御説明いたします。

歳出を御説明いたしますので、7、8ページをお開きください。

右の説明欄、3款1項1目 福祉推進事業の生活困窮者緊急生活支援事業委託料1,957万9,000円は、エネルギー、物価高騰対策として、生活困窮世帯へまごころサポート便を実施するものです。社会福祉協議会、コープあいちと協力し、7月から1月の4回分の生活支援物資の提供や生活の見守りなどを行うものです。

続きまして、9、10ページをお開きください。

右の説明欄、下段、3款3項2目 扶助事業の非課税世帯等臨時特別給付金1億7,400万円です。これも生活困窮世帯への物価高騰に対する支援事業でありまして、市民税非課税世帯などに1世帯当たり3万円を給付します。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 松村子育て支援課長。

○子育て支援課長（松村清子君） 子育て支援課所管分につきまして、初めに、歳出から説明させていただきます。

補正予算書9ページ、10ページの上段を御覧ください。

3款2項1目 児童福祉総務費、3 児童福祉事務事業7,194万7,000円は、国の子育て世帯生活支援特別給付金事業を実施するため増額をさせていただくものです。

説明欄を御覧ください。

主なものを説明させていただきます。

電算関係委託料が176万円、そして、子ども1人当たり5万円、1,400人分の給付金7,000万円の積算をして増額させていただいております。

続きまして、歳入の説明をいたします。

5ページ、6ページを御覧ください。

14款2項2目 民生費国庫補助金、3 児童福祉費補助金7,194万7,000円は、先ほど歳出で御説明いたしました子育て世帯生活支援特別給付金事業に10分の10充当するものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

浅井委員。

○浅井孝雄委員 非課税世帯等臨時……。

(何ページの声あり)

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ページ数と……。

○浅井孝雄委員 ごめんなさい。10ページです。すみません。10ページの非課税世帯等臨時特別給付金事業委託料の委託は随意契約ですか。また、人員の配置は何名ですか。また、給付金事業の委託業者はどのような業種を想定していますか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 委託事業につきましては、随意契約になっております。随契の2号で選定する予定でおります。

以上です。

人員のほうですが、配達はコープあいちに委託する予定で……。

(給付金じゃないの声あり)

○地域福祉課長（野田勇樹君） ごめんなさい、給付金ですか。すみませんでした。失礼しました。

給付金の対象世帯は、およそ5,800世帯を想定しております。

(委託で何人体制でやるの給付金の声あり)

○地域福祉課長（野田勇樹君） 大変申し訳ありませんでした。ごっちゃんに、まごころサポート便とちょっと間違えておりましたして申し訳ありません。

給付金の契約ですが、入札で行うことを考えております。申し訳ありませんでした。

給付金事業の委託の人数ですけれども、窓口3名体制で委託する予定です。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 浅井委員。

○浅井孝雄委員 あともう一つ、その中でお答えしていただいてないのがあるんですけど、給付金事業の委託業者はどのような業種を想定していますかということです。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 委託業者の業種としては、人材派遣業等を予定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井孝雄委員 ちょっとまた質問変わります。すみません。

非課税世帯ではない均等割のみ課税されている世帯など、困窮世帯への支援は考えてい

ないのですか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 現時点では考えておりません。その際に、困窮世帯が相談に来た場合は、自立相談センターのよりそいに案内したりと、そちらに御案内するように想定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

近藤裕英委員。

○近藤裕英委員 すみません、ちょっと確認も含めて質問させてください。

10ページ、上段の子育て世帯生活支援特別の7,000万の内訳ですけど、低所得、子育て世帯830世帯というふうにお聞きして、ほかに何かがあるので7,000万になると思うんですけど、単純に830掛ける5万円だと7,000万にならないんですけど。

（1,400人分の声あり）

○近藤裕英委員 1,400人だった。837人。

（世帯がの声あり）

○近藤裕英委員 分かりました。すみません、質問を取り消します。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 三浦委員。

○三浦桂司委員 8ページの福祉推進事業費の生活困窮者緊急生活支援、まごころサポート便ですけども、豊明市の一財を使つての継続がずっと続ければいいんですけども、去年は7回で今年は、これ、7月から3月で4回ということは、昨年同様を考えているのか、また、物価高騰がもっと続いた場合、もっと増えるのか、この金額でいいのか、ちょっと教えてください。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 今年度想定しておりますのは、7月から1月まで2か月置きに、7月、9月、11月、1月の配達を想定しております。もし価格高騰が続きました場合は、またその時期に考えさせていただきたいと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

藤江委員。

○藤江真理子委員 今のまごころサポート便に関連してなんですけど、昨年度7回行われたということで、これまでと何か変わる点があるんでしょうか。中身だとか、前回と変わる

点があるのかないのか、あればどんなふうになるのか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 変わる点としましては、昨年度は2種類のコースを想定しておりました。それを少し見直しして、生活困窮者の方々の希望に沿ったコースをもう一度設定し直したいというふうに考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 藤江委員。

○藤江真理子委員 前は2種類ということで、今回は複数種類、選択肢が広がるという理解でよろしいですか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 2種類というのが、前は食料品と日用品が混ざったものをAコース、Bコースという2コースに分かれてたんですけども、今回は日用品に絞ったコース、食料品に絞ったコースということで、お客様というか生活困窮者の方、該当者に選んでいただいた配達をしていきたいと思っております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

副市長。

○副市長（土屋正典君） 補足説明をさせていただきます。

変わった点等は、今、課長が説明したとおりでございますけども、アンケートの結果等も踏まえて、今後もよりニーズに沿ったような形にしていきたいというふうに考えております。また、できるだけつながりを保てるような形のもので様々連絡方法等、工夫していきたいと思っております。

あと、財源のほうですけども、まず一財のほうで上げておりますけども、これまた国のほうの重点事業交付金、こちらのほうの該当になるコースというふうに考えておりますので、そういったことで対象にするということになれば財源振替をさせていただくようなことを考えておりますので、よろしくお知りおきをお願いします。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 藤江委員。

○藤江真理子委員 10ページの下の方の非課税世帯等臨時特別給付金のところなんですけれども、間違ったら指摘いただきたいんですけども、今回そういった基準日、何月何日時点でのという基準日が、自治体の裁量でできるのかなというふうに私は理解してたんです

が、その基準日と、あと、これ、前のときにも確認させていただいたんですけれども、例えば、DVとか暴力を理由に本市に避難されている方、また逆に、本市に住民票があるけれども豊明の外にいらっしゃる方、そういった方たちへのフォローというのか、どういうふうに考えてますでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 答弁願います。

野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 給付金の基準日ですけれども、想定として、6月1日の基準日を想定しております。

あと、DV、また虐待等の対応ですが、その方々の非課税世帯相当ということで、家計急変ということもこちらでは想定しておりますので、そのような中で対応させていただけたらというふうに考えております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 藤江委員。

○藤江真理子委員 今の同じところですが、5,800世帯を想定ということですが、非課税世帯と家計急変と、どのぐらいの比率というのか、想定予算立てなんでしょうか。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 野田課長。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 想定としては400世帯を見込んでおります。

以上です。

（どっちがの声あり）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） すみません、もう一度答弁をお願いします。

○地域福祉課長（野田勇樹君） 失礼しました。非課税世帯、課税のされていない世帯は5,400世帯を想定しております。また、家計が急変した世帯は400世帯を想定しております。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手願います。

近藤委員。

○近藤裕英委員 本委員会所管の部分について賛成の討論をさせていただきます。

いずれも必要な提案でありますので、早急に準備をしていただいて、また、社協さん、コープさんにお世話になるまごころサポート便、日用品と食料品と分けてお届けできるということなので、今後の課題として、それもまたその内容もリクエストできるとか、リク

エストランチではありませんが、せつかく、答えれる範囲であれば希望を募ってお届けできるといいのかなと、これは参考までに申し上げておきます。

以上の理由で賛成といたします。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

浅井委員。

○浅井孝雄委員 議案37号の今の豊明市一般会計補正予算（第2号）について、反対の立場で討論します。

理由は、物価高騰で生活の厳しい4月から6月の支援でまごころサポート便が全く考えられていないこと、それと、非課税世帯の給付金で、非課税世帯ではない困窮世帯に対しても全く考えられていない予算なので反対します。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

藤江委員。

○藤江真理子委員 議案第37号の第2号の健康福祉委員会所管について、賛成いたします。

質疑の中でもあったんですけども、迅速にということ、今日、本日即決というのは理解しております。所得が僅かに非課税ラインを越えている、ぎりぎりのどこかには線を引けば境目はできるんですけども、いつも非課税世帯かどうかで区分が割られてます。ほんのちょっと外れるところというのは一番やっぱり大変苦しいです。

それに対して、いろいろ質疑のやり取り聞いてましたら、今後必要に応じて行うとか、よりそいに案内するというふうな受け身、相談に来れば交付につながるよという、それはもちろん当然のことなんですけれども、プッシュ型というのかな、なかなか声に上げられない方もいらっしゃるの、そういうところも、毎回言っていることなんですけれども、考慮いただきたいと思います。

以上です。

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ほかにございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第37号のうち本委員会所管部分については、原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） 賛成多数であります。よって、議案第37号のうち本委員会所管部分については、賛成多数により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました案件の審査は終了いたしました。

お諮りいたします。委員会報告については私に一任願えますか。

(異議なしの声あり)

○健康福祉委員長（堀内千帆議員） ありがとうございます。

委員会報告書については、例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、御苦労さまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午後2時49分閉会

豊明市議会委員会条例第29条の規定によりここに署名する。

健康福祉委員会

委員長